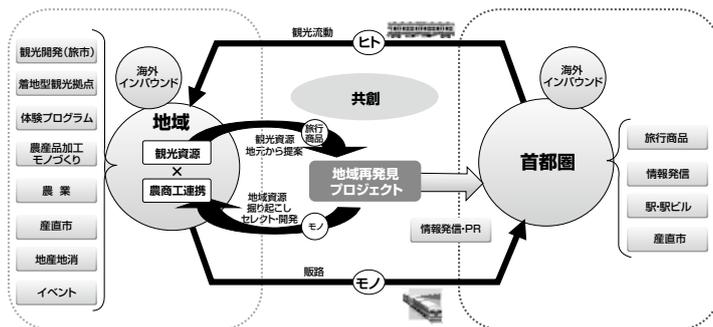


# 地域再発見プロジェクト

## 「地域再発見プロジェクト」とは

人口減少や少子高齢化、都市への一極集中が、地方の経済、文化、伝統、技術の存続を危うくする中において、JR東日本グループのさらなる発展のためには、地域がもつ魅力を高めることで、地域間の流動をつくり出ししていく必要があります。そのため、鉄道事業と生活サービス事業の横断プロジェクト「地域再発見プロジェクト」を発足し、JR東日本グループと地域が役割を明確にしながるとともに知恵を絞る「共創」戦略のもと、人とモノの交流をはかることで首都圏と地方の間で大きな循環を生み出すことをめざし、さまざまな取り組みを行っています。



## ○主な取り組み

2009. 9	地域再発見プロジェクト発足
2010. 12	地域再発見プロジェクト「秋田」産直市開催（上野駅）
12	あおもりシールド「工房」と「市場」の複合施設「A-FACTORY」開業
2012. 1	地産品ショップ「のもの」開業（上野駅）
1	NEW DAYS「のものコーナー」開始（9店舗）
2013. 9	6次産業化に向けた「のもの1-2-3」プロジェクト始動
2014. 3	地産品ショップ「のもの」秋葉原店開業
9	「十日町すこやかファクトリー」開業
9	「(株)JRとまとランドいわきファーム」会社設立
2015. 11	「のものキッチン池袋東口店」開業
2016. 1	「のもの居酒屋“かよひ路”上野店」開業
1	「(株)JR新潟ファーム」会社設立
3	「ものオリジナル商品「おやつTIMES」販売開始
4	「地域活性化物流LLP（有限責任事業組合）」設立
2017. 1	「(株)JRアグリ仙台」設立
2	「のものレストラン“みやこ”品川店」開業
2	「地域素材応援プログラム」始動
8	地産品ショップ「のもの」東京駅グランスタ丸の内店開業 「ものジュース“百果百菜”」グランスタ丸の内店開業
9	農産物直売所「AOYA」開業

## 具体的な取り組み

### ○地産品ショップ『のもの』

地域の食文化を通じて、首都圏のお客さまに新たな驚きや発見、喜びを提供するブランドとして拡大していき、地域の活性化に貢献します。



もの上野店



もの東京駅  
グランスタ丸の内店



ものキッチン池袋東口店



もの居酒屋“かよひ路”上野店

### ○のもの 1-2-3 プロジェクト

地域の魅力ある素材を掘り起こし（1次産業）、優れた加工技術等（2次産業）を組み合わせ、お客さま視点を踏まえた商品開発と販売（3次産業）を推進する、ものづくりプロジェクトです。



別格信州ジビエ  
ザ★鹿肉バーガー



仙台きなこシリーズ

### ○おやつTIMES

地産品ショップ「のもの」を通じて出会った地域の生産者と連携して女性に嬉しい食べやすいサイズのお菓子を開発しました。高速バスのトランク等を活用して輸送コストを削減する「地域活性化物流LLP」を設立するなど、地産品流通の課題を解決し、首都圏の地産品マーケットの拡大を図ります。



### ○JRとまとランドいわきファーム



福島県いわき市の先進農家と連携した、太陽光利用型植物工場にてトマトを生産する農業法人です。

首都圏のJR東日本グループ店舗で活用するほか、植物工場に隣接する6次産業化施設で直売・加工し、食文化の創出や地域の魅力向上をめざします。

### ○JR新潟ファーム



新潟市の国家戦略特区を活用して設立された農業法人です。酒米生産を通じて新潟日本酒文化の発展への一翼を担います。

### ○JRアグリ仙台



農作物の生産と販売を一体的に運営する農業法人です。

仙台駅前の自社店舗「AOYA」を核として、地域の魅力を発信します。